

日本体育大学医療専門学校 学校関係者評価 議事録

日 時：2022 年 11 月 22 日（火） 11 時 00 分～12 時 00 分

場 所：日本体育大学医療専門学校 3 階会議室

学校関係者評価委員【敬称略・順不同】

- ・難波 英樹 整復健康学科非常勤講師 難波接骨院院長 同窓会長
- ・蓮沼 鉄也 整復健康学科非常勤講師 はすぬま整骨院院長
- ・甘利 雅雄 整復健康学科非常勤講師
- ・廣川 晃司 口腔健康学科非常勤講師 神奈川歯科大学附属横浜クリニック特任教授
- ・湯山 徳行 口腔健康学科非常勤講師 歯学博士 ※欠席

学校教職員

- ・富田 美穂子 校長
- ・吉田 裕輝 整復健康学科 学科長
- ・廣川 香 口腔健康学科 学科長
- ・門田 誠 事務長
- ・小林 絵里 事務職（書記）

1. 議事

- 1) 学校紹介・報告
- 2) 自己点検・自己評価 2021 年度の結果と取り組み報告
- 3) 報告に関する討議

＜配布資料＞

2021 年度自己点検・自己評価報告書

学校案内・募集要項

2. 報告結果

- 1) 学校長挨拶

委員紹介、学校の現状（教職員数、在学生推移、募集状況、広報活動報告）、本会議の
該要、スケジュールについて説明

- 2) 各学科長報告

＜整復健康学科＞

①学習面サポート取り組み

- ・各学年の担任主体で学習をサポート
- ・1 学年 学習の習慣をつけるために毎週、課題配布

②退学者について

- ・面談実施（前期・後期）→学生と密に接することで退学者抑制

- ・1 年次学生の成績が低いほど退学率が高いので、重点的にサポートを実施

③国家試験対策について

- ・国家試験対策問題を毎週配布（約 30 問）
- ・9 月勉強合宿実施
- ・前期および夏季集中講義にて解剖学・生理学の強化対策を実施
- ・後期に解剖、生理、柔道整復理論以外の科目の強化対策を実施
- ・条件付き卒業見込み者および保留者に対し、週 3 回放課後勉強を推進（ほぼ全員出席している）、さらにそのうち週 2 回は問題とその解説を実施。
- ・認定実技審査全員合格

④コロナ対策

- ・基本対策は前年同様（手指消毒、換気対策、マスクの徹底等）
- ・昨年より緩和した実技授業の実施
実技：列ごとに入れかえて実施（濃厚接触者回避）
- ・講義：前年同様実施 距離を保つ

<口腔健康学科>

①学習面サポート取り組み

- ・課題配布の実施

②退学者について

- ・遅番制導入し（教員）、放課後の学生対応の充実をはかった
- ・1・2 年生の学力を伸ばすことで退学者抑制を目指す（全員進級目標）

③国家試験対策について

- ・前年度の国試合格率は 92.3%であったため、今年度は 100%を目指す。
- ・補講授業の実施の継続

④コロナ対策

- ・基本対策は前年同様（手指消毒、換気対策、マスクの徹底等）
- ・相互実習はパートナー固定にて実習
- ・マスク着用を義務付け、安全な距離を保ち授業を実施
- ・学外で行う歯科医院での臨床実習は 予定通り実施
- ・老人ホーム等で行う臨地実習については、状況を鑑みて中止（代替実習を学内にて実施済）

⑤その他

- ・募集は前年度より出足が遅い状況
- ・今年度初めて日体大編入希望者あり（1 名）→入学希望者獲得に繋げる

3) 自己評価報告書の結果について

2021 年度自己評価報告書に基づき、基準項目の結果と今後の改善方策について以下のポイントに留意しながら評価を行った。

1. 自己評価結果の内容が適切かどうか
2. 今後の改善方策は適切かどうか
3. 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
4. その他、学校運営に関する意見、要望等

評価項目	評価①	評価②	評価③
1. 教育理念・目的・育成人材像	◎	◎	◎
2. 運営方針・事業計画	◎	◎	◎
3. 教育活動・学習成果・学生支援	○	◎	◎
4. 教育環境	○	○	◎
5. 財政	△	○	○

【◎適切である ○ほぼ適切である △やや不適切である ×不適切である（要再検討）】

評価項目	意見等
1. 教育理念・目的・育成人材像	適切である。学校の特色や将来構想等についてさらなる周知が必要である。
2. 運営方針・事業計画	適切である。学生が安全に学習できる環境作りの継続が必要である。
3. 教育活動・学習成果・学生支援	適切である。退学者を出さない、増やさない工夫の継続が必要である。
4. 教育環境	適切である。学習スペースの確保はできている。 多くの学習用模型を所持しているので、もっと学生が触れる機会を増やす提案があった。
5. 財政	改善が必要である。経年劣化による環境整備により、支出は超過見込みである。募集対策や支出低減の努力をしつつ、退学者抑制にも継続的に力を入れていく必要がある。

4) 意見・要望等

<p>学生生活について</p>	<p>①基本的な人間教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の徹底 <p>入学時の学生心得として、柔道の礼法等を交えての基本教育（挨拶・授業に向かう姿勢等について）を実施する。教職員自ら、丁寧な挨拶を心掛ける。</p> <p>②授業態度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上が授業態度の向上につながる。 ・授業に集中できない学生への対応が必要である。 <p>メリハリのある講義を実施する。</p> <p>復習→講義→国家試験対策（興味の方角を具体的に）</p> <p>全員に質問を行う（参加型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技授業の全体的な学生の実力レベルが高い。
<p>国家試験について</p>	<p>①国家試験合格率について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志願者の状況から、優秀な学生だけを獲得することは困難であるため、基礎学力・学習意欲の向上に向けた継続的サポートを実施する。 <p>②国家試験対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補講実施の強化を継続（合宿、個別フォロー等）する。 ・国家試験対策の内容を充実させ継続する。 ・一問一答だけではなく、理論的に考える授業の展開も重要である。
<p>退学者について</p>	<p>①退学の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退学者は減少傾向である。 <p>②退学者の低減を図るための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担任等による、個別面談・フォローを充実（カウンセリング）させる。 ・学力の向上を目指した課題を配布する。 ・オープンキャンパス時に十分な説明を行う（ミスマッチを減らす）。 ・低減の一方、本人の希望や考え、方向性を尊重する。
<p>学力向上について</p>	<p>①学習意欲の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年を超えた学生同士で学習を行う。教えることは自分の勉強や、やる気の向上につながる。 ・授業当番の責任感、遅刻、忘れ物、居眠り等、学習以前に守るべきルール（基本教育）を再確認させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模型を使用する機会を増やし、教科書だけではわからない知識、感覚を養う。そのほかに学習アプリの導入を検討（アトラスアプリ等）する。 ・ わからないことを放置させない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生に対し、頻繁に連絡を送っている専門学校がある。本校も卒業生との結びつきをもっと大切にしたい。